

高木復興大臣福島県訪問ぶら下がり会見録  
(平成28年7月24日(日) 1550～1555 於) 新地町)

1. 発言要旨

本日は相馬野馬追祭り、原ノ町駅、相馬福島道路及び新地アグリグリーンの視察を行いました。今月12日に南相馬市の帰還困難区域以外の避難指示が解除され、小高区の火の祭りが再開されるなど、祭りも元通りに戻りつつあります。相馬野馬追はたいへんな観光資源であることはもちろん、祭りのにぎわいを見て、帰還する心を固める避難者もおられると思います。そうした心の復興の意味でも大変重要な祭りでありまして、このような機会が今後の復興では重要だと改めて認識をさせていただきました。

また、常磐線も原ノ町駅から小高駅間が復旧して、地域の方から日常が戻り、やっと心が和んだとの声があるというようなことも伺いました。常磐線の復旧も復興支援道路である相馬福島道路の完成も復興の実感、あるいは避難からの帰還の促進にとっても大きな意味があると考えております。復旧や開通の予定に従って、着実に進めることが重要だと思っております。

新地アグリグリーンでは、サンゴ砂礫を使った高い効率性と品質のトマト栽培を行っております。復興に当たって、東北を課題解決先進地にしていこうと取り組んでおりますが、農業でのモデル的な取り組みだと思えました。

いずれにしろ、復興庁としては、1人でも多くの住民がふるさとの生活を安心して再開できるよう、生活環境の整備、産業、なりわいの再生をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今日、小高のほうご覧になって、小高も避難指示が解除されましたけれども、福島で既に避難指示解除されている檜葉などありますが、避難指示解除されたとしても、帰還している住民が少ないということがずっと課題だと思えます。改めて検討しておりますが、帰還の促進に向けてどのように取り組まれていきますか。

(答) たびたび申し上げますけれども、避難指示の解除というのは、帰還へのまず第一歩だというふうに考えておりまして、これから帰っていただける、そうした方々とともに復興をやっていくということが大事だというふうに思いますし、いずれにしても、国として買い物などの生活環境の改善、向上、あるいは産業、なりわいの再生、そういったようなことをしっかりとやって、1人で

も多くの方が帰ってきていただいで、そして、しっかりとふるさとを取り戻していただけるよう頑張っていきたいというふうに思います。

(問) 大臣は野馬追を御覧になられるのは初めてですか。

(答) 初めてです。

(問) 今回、本祭り、甲冑競馬、神旗争奪戦を御覧になられたかと思いますが、今日の先ほどの言葉にもあったように、野馬追というのは復興に資する観光資源だということをおっしゃられていたと思いますが、今回、初めての野馬追の観覧を通して、今後どのように観光を、復興庁として進めるお考えですか。

(答) まず、やはりこの1,000年余以上続いている、そうしたふるさとの伝統的な、あるいは歴史というものを大事にしているということに心から敬意を表したいと存じます。市長さんもおっしゃっていましたが、残念ながら全国に避難をなさっている方がいらっしゃるわけでもありますけれども、そうした方たちが、この野馬追のような祭りを見る、あるいはまた感じるということによって、やはりふるさとというものを懐かしんでいただけるでしょうし、やはり、やっぱり帰ろうと思っていた方もいらっしゃるのではないかなと思います。そうした意味で、もちろん歴史とか文化というのは、その町にとって、なくてはならない大切なものでありますけれども、それがまさにこの地方では、野馬追というのはまさに象徴的なことでもありますから、今回、避難指示が解除された地域においても、お祭りをやっただけだったということは、大変意義深いことだというふうに思っております。心の復興という言い方もしておりますし、また、まさに東北観光復興元年と位置づけておりますけれども、そうした心の復興ということ、そしてこの観光ということに、大きく資するその祭りだというふうに思いますので、ぜひこれからも頑張っていたきたいと思っておりますし、また、国としてもできるだけ支援をさせていただきたいというふうに思っております。

(以 上)